

経営資料

No.195 会社訪問

きたみかど ひろあき
代表取締役 **北御門 宏昭 氏**

株式会社ミカド科学産業

会社プロフィール

代表者:代表取締役 北御門 宏昭

本社:〒862-0924 熊本県熊本市中央区帯山1-44-53

TEL:096-381-1617 FAX:096-382-9828

創業:1973年(昭和48年)8月

設立:1976年(昭和51年)8月

資本金:1,000万円

従業員:12名

事業内容:半導体、製薬、食品分野の民間企業、行政の研究機関、
大学向けに分析機器、計測機器、理化学機器、設備、消耗品の
販売及びメンテナンス

URL:https://mikadokagaku.co.jp/

聞き手:富山裕明(広報委員長)、岡田康弘(編集長)、取材・撮影・編集:クリエイティブ・レイ(株)

熊本で半導体・製薬・食品・農林水産業など、民間企業や行政機関の
研究施設に設備・機器・消耗品を提供する理化学商社「ミカド科学産業」

御社の事業内容についてお聞かせください。

北御門 弊社は熊本で52年以上の実績を持つ理化学商社です。お客様は、大学など教育機関、一般企業の他、公的機関の研究施設などに設備・機器・消耗品など必要な一連の製品を提供し、お客様の研究開発・品質管理・生産設備環境をトータルでサポートしております。もちろん販売後の保守メンテナンスも行い、迅速にサポートできる体制を整えております。

お客様の地域範囲が非常に広いのが弊社の特徴です。近年、熊本は世界最大の半導体企業である台湾のTSMC(JASM)が熊本北部に進出してから非常に注目されています。TSMCの他は、以前から生産拠点があるソニー、東京エレクトロンなどの半導体関連企業、更にはホンダなどのバイクメーカー、食品関係では阿蘇の伏流水を使って飲料を製造するサントリーなどがあります。

その他にも、多くのお取引をいただいているのが、製薬メーカーのKMバイオロジクスで、インフルエンザワクチンや新型コロナウイルスワクチン製造の大手企業です。

企業以外では、熊本大学などの大学や教育関係、高校や中学校、また行政の研究機関にも長年サービスを提供させていただいております。

こうして伺うと、熊本は半導体産業だけでなく色々な分野の製造拠点多いんですね。

北御門 おっしゃる通り、熊本は北から南までかなり広く、先程あげた他にも化学メーカー、精密機器メーカーなど様々な大手企業が進出しています。

弊社の従業員は12名ですが、営業担当が北から南は鹿兒島に近い水俣や人吉まで飛び回っています。

さらに有明海を橋で渡ると、海の宝・天草諸島には水産関連の研究機関もあります。天草産の魚介類は評判が高く、味にこだわる首都圏や大阪などの高級料理店に出荷されているようです。



市内中央区帯山の本社外観

経営資料

熊本に豊かな資源と土地柄を感じます。

北御門 熊本は県が進めてきた半導体を含めた様々な第二次産業と共に、昔から第一次産業も盛んです。その理由には、熊本の一番の財産と言われる阿蘇大地の地下水資源が豊富にあることが大きいように感じています。

創業から50年の歩みをお聞かせください。

北御門 現在の会長で、私の父親である北御門明が昭和48(1973)年8月に熊本で創業しました。私は2010年に現会長の跡を継ぎ、代表取締役に就任して約15年になります。

もともと父は、福岡県久留米市にある学校向けの理科教材を提供する会社に勤めていましたが、新たに営業先として開拓したメーカーの方の後押しもあり独立。熊本で一念発起して創業しました。熊本を選んだのは、勤めていた会社があった久留米や福岡の市場に迷惑をかけないようにという心遣いがあったようです。

そうして知り合いも誰もいない熊本で母が事務を担い、他に従業員は1人という形での起業でした。当然住まいも引っ越し、その自宅の一室が事務所代わりでした。父はとにかく1日中働き、母は事務作業、電話、来客対応などの合間に家事をしていましたが、私と妹のことにまで手が回らないというのが当時の様子でした。放任されていたので、私も色々と悪さをしでかしたのですが、昔のことですので、そういった時は鉄拳も受けていました。

創業から間もない頃は、今も取りさせていただいているエスベック株式会社、日本分光株式会社をはじめとして多くのメーカー様に支援していただいたと、会長から聞いています。

今も変わらず長いお付き合いをいただいていたことから、両メーカー様からは大きな看板を事務所外壁に掲げさせていただき、大変うれしく思っています。

設立初期の頃は、行政など公的機関の方々との案件が今よりは多かったようです。その後、ひとつのターニングポイントとしては、最初に申しましたKMバイオロジクス(前身:化学及血清療法研究所)とのお取引がスタートしたことが、売上を伸ばす契機になりました。

その後、80年代に打ち出された「テクノポリス構想」に基づき、半導体など次世代産業が盛んな県にしていこうという行政の意向があり、誘致に力を入れ、実際にソニー

など大手企業などが進出してきました。TSMC工場の進出もこれによります。これに伴い民間企業のお客様とのお付き合いが増えて行きました。

一方で熊本県はもともと農業県で、農業試験場関係の仕事も多数ありました。国管轄の九州沖縄農業研究センター、森林総合研究所、県の農業研究センターなどです。そういった農業関連の所では、気象関係の仕事も結構させていただきました。

北御門社長が、これまでに喜びを感じた出来事などがあればお聞かせください。

北御門 私は昭和63(1988)年に入社し、お客様に育てていただいたという感じですが、営業時代の現場仕事が一番楽しかったです。自治体に気象観測装置を設置する時は、小学校の屋上にポールを立て、日射計を取り付けたり、山の上に登ったりと、今考えると怖いような作業もしました。気象用のロボットを4~5台設置した時は、まだインターネットが普及し始めた頃で、基地局に電話番号を取得し、電話機とモデムを置いて苦勞しながら通信環境を構築した事が、非常に面白かったです。そしてお客様に喜んでいただき、営業としてすごく嬉しく感じました。

さらに別のお客様で、メッキ工場排水処理設備を急遽作らなければならないとご相談を受けたことがありました。その時頼みにしていたメーカーの都合がつかず、弊社がまとめ役になり、工事も含め様々な部品メーカーに手配をし、現場に1週間ほど泊まり込みで仕上げました。苦勞は多かったですが、今思えば非常に楽しくもあり、後にお客様の会社から感謝状をいただいた時には、大変感動しました。

逆に、苦しさや困難を感じた出来事はありましたか。

北御門 困難だったことはやはり熊本地震です。2016年4月14日21時26分にマグニチュード6.5の強い地震が発生した時、私は出張で東京にいました。すぐに帰らねばと、翌日の午後に予約していた飛行機を少しでも早めようとしたのですが席が全て埋まり変更できませんでした。気持ちばかり焦りましたが、また、熊本に食料がないと聞いたので、できるだけたくさんのお弁当を買って帰りました。

翌日の夕方に到着し帰宅すると、家の中は食器が散乱し、タンスが倒れている悲惨な状況でした。翌日から片づ

経営資料

けることにし、早めに寝付いた深夜、2回目の強い揺れが起きたのです。16日の午前1時25分マグニチュード7.3の本震でした。

私の自宅はマンションの7階ですが、頭が揺さぶられるようで、とにかく立ってられない恐ろしい揺れでした。「とにかく逃げよう」と家族と逃げ出しましたが、玄関ドアも歪んで足で蹴らないと出ていけません。歩いて行ける距離に実家の一軒家があったので幸い避難はできましたが、一晩中震度5ぐらいの余震が断続的に起き、夜通し庭で過ごしました。

会社の様子を確認できたのはその翌朝で、幸い社屋は軽微な被害ですみました。社員に怪我をした人間はいませんでした。家が全壊した人がおり、もちろん仕事より復旧を優先してもらおうようにしました。

そして同様に、お客様も被害を受けておられました。私としては、非常に悩ましかったのですが、お客様の安否確認と復旧を手伝うべき立場でしたので、家族には我慢をしてもらい、私は仕事を優先するような状況でした。ほとんど着のみ着のまま、この緊急事態への対応に当たったのですが、今も思い出すだけで本当に大変だったと言えません。

地震でライフライン(水道・ガス)が寸断され、本当に食料がなく、コンビニも品薄状態、コンビニのトラックを見かけたら、後に付いて行き荷下ろしを待ち食料を確保するような状態でした。お客様やメーカーの方々まで、不足していた食料、水、ヘルメットやカセットコンロまで用意してきてくださいました。

そういった中でも、忘れられない感激がありました。福岡拠点の会社でしたが、実は福岡でも物がなく、後日聞くと山口県まで行き必要なものを調達して、それをわざわざ熊本県まで持ってきてくださっていたそうです。

また、その後の復興時には関西のメーカー担当者が熊本に営業訪問に来られた際、ボランティア活動に従事してくれていたことを後日知りました。当時の九州科学機器協会理事長の故 櫻木壽明様が集会時に募金箱を設置され、協会会員の皆様から義援金をいただきました。社内ではライフラインにあまり不便がなかった社員が、会社の皆のためにと昼食を差し入れてくれたことは、一生忘れられないありがたい出来事です。

非常に胸を打ちます。社長が日頃より信頼されてきたことの証と拝察いたします。

北御門 実は私がひとつ思ったことが、言葉がふさわしいかは分かりませんが、出張しっぱなしで2回の揺れを両方とも経験しなかったら、またあの時の熊本県民の大惨事を共にしていなかったら、今、何か申し訳なさがあったかもしれないですね。

飛行機を早めたくても席がなかったことを話しましたが、搭乗して分かったのですが、報道機関の人達が大量に陣取っていて驚きました。そして、被災している人が休んでいる避難所で夜間に煌々とライトを照らして取材をしたり、報道陣が予約した宿を無断キャンセルにするなどを見聞きし、考えさせられることも多かったです。

自宅、実家ともに半壊となりましたが、得難い経験だったと思います。その後もあちこちで災害が起こっていますが、被災者の方々の気持ちは非常によく分かります。

御社の経営方針や経営理念をお聞かせください。

北御門 2002年頃に品質マネジメントシステムのISO-9000シリーズ、環境マネジメントシステムISO-14000シリーズの取得をしました。その理由は「環境保全を重視している企業として活動していきたい」という方針からです。自然に恵まれた熊本の企業として、弊社は環境保全を重視している企業活動、これを1番大切な経営の方針にしております。

そして社員に向けては「感謝」と「謙虚」という言葉をよく伝えていきます。お取引先様に感謝と敬意を持ってお付き合いをすること、そして謙虚に、自分に足りていないことを見つめる気持ちが、学びと成長に繋がると思います。

現在の課題や目標がございましたらお聞かせください。

北御門 海外からの進出企業は主に台湾からで、多くの会社さんが進出して来ています。「取引開拓をしよう」と、いくつか商談は進めさせていただいておりますが、これまでの経験値とは異なるスキルを求められ、弊社を取り



若手ホープの営業スタッフ

経営資料

巻く仕事環境が大きく変化してきていると思います。DX化もしかり、色々なことがダイナミックに変わりつつあり、人間も組織も時代に合わせて大きく変化をしていく必要を感じています。それには自分自身も社員も常に新しい時代に合わせて学んでいかなければいけません。学んだスキルを新たに活かすことによって組織体として強くなっていく必要があるように思います。

外国のお客様との商談では語学の必要性もあり様々なツールを使い営業を行っていますが、細やかな直接的なやり取りには大変苦労しています。

ここからは北御門社長の個人的なことをお聞きます。

座右の銘や好きな書籍など、お聞かせください。

北御門 若い頃から読書は大好きで山岡荘八、司馬遼太郎、北方謙三など、色々読んできました。その中で、2014年のNHK大河ドラマ『軍師官兵衛』の原作者である童門冬二先生と一緒にセミナーや食事をする機会がありました。セミナーのテーマが「リーダーシップ」で、童門先生は「個の力を引き出すリーダーシップ」の大切さを強調されていたように伺えました。それは、松下村塾を開いた吉田松陰の教育でもあったそうです。

その中で言われた「虚心坦懐」という言葉が、非常に心に残っています。先入観を持たず相手と真摯に向き合う、という意味です。言われてみると、この「虚心坦懐」が座右の銘かもしれません。

日頃の余暇の過ごし方をお聞かせください。

北御門 コンサートや演劇、ミュージカルなど、ジャンルを問わずに観に行くようにしています。実はこれにはきっかけがあるのです。

熊本地震の前年に、若い頃によく聞いていたアーティストの角松敏生さんが横浜アリーナで35周年コンサートを行うというのを見て申し込みをしていました。しかし、大地震ですっかり忘れていたところ、驚いた事に、地震が起きた年の7月頃に角松さんの事務所からお見舞いの連絡をいただいたんです。そこで予約していたことを思い出して、まだ復旧のさ中で大変でしたが、家族4人で横浜に行きました。そして、角松さんの事務所のご配慮だと思うのですが横浜アリーナの最前列の席が確保されていてびっくりしました。後から、阪神・淡路大震災の頃にも被災者に

寄り添った活動をされていて、被災した方にすごく心を砕いてくださる方であることを知りました。そのコンサートはとても長く6時間程ありましたが、観終わった後、震災で落ち込んでいた気持ちがスッと晴れて、元に戻れたというか、家族共々、非常に気持ちが上がりました。それがひとつのきっかけで、音楽、演劇、舞台など、少しでも興味があったら行ってみようという趣味になりました。

その他では、4年ほど前に大型バイクの免許を取りました。これもきっかけがあり弊社の隣にバイクのショールームがオープン。開店の挨拶に来られた店長から購入を勧められ注文、それから教習所に通いました。

今ではバイク好きな社員や息子、友人と阿蘇や天草などツーリングすることもあります。熊本には山へ海へとてもいい場所があります。北海道に出張に行った時はついでに現地でレンタルバイクを借りて北海道を周りました。九州とは違い長い一本道を走り抜ける爽快感は格別でした。



▲ 武道館でのエリック・クラプトンのコンサート

▲ 北海道襟裳岬でのツーリング

最後に、協会へのご意見やご感想をお聞かせください。

北御門 九州科学機器協会には約90社の会員企業があり、その中の8社が九州科学機器協会熊本支部として活動しております。支部長時代に「熊本で学習教室を開催したい」という目標を実現できたことは、自身としては嬉しいことでした。学習教室は今も担当しており、会員企業の従業員の方々の教育に寄与する企画をこれからも提供していきたいと思っています。